

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和4年度)

調査表

施設名	県立青島亜熱帯植物園・宮崎県総合運動公園
指定管理者	一般財団法人みやざき公園協会
指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課 美しい宮崎づくり推進室

1 施設利用状況

指標	R4	R3	R2	増減理由等
青島亜熱帯植物園 (単位:人)	255,747	171,505	179,544	新型コロナウイルス感染症対策に関する制限緩和等により青島地域への観光客が増加したほか、県総合運動公園においてもWBC日本代表の合宿等の影響もあり利用者が増加した。
運動公園内施設利用者 (単位:人)	1,149,712	598,130	469,805	
コメント	植物園は季節ごとのフラワーショーや展示会などのイベントを行うほか、他施設と連携して情報発信を行うなど魅力発信に努めている。運動公園においては、QRコードを設置したアンケート運用により更なる利用者のニーズ把握等に努めている。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R4	R3	R2	支出	R4	R3	R2
指定管理料	144,188	144,194	139,096	人件費	69,667	62,369	62,617
自主事業等	10,865	5,552	6,470	需要費・役員費	28,064	27,540	25,386
				委託料・使用料等	25,649	27,380	25,883
				経費	17,169	16,683	15,854
				自主事業等支出	14,717	9,867	12,872
合計(①)	155,053	149,746	145,566	合計(②)	155,266	143,839	142,612
収支差額(①-②)	-213	5,907	2,954				
コメント	共有資材の活用や必要な消耗品は一括購入するなどして費用の縮減を図り、保有する大型機械により効果的・効率的な維持管理を行っている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和4年度に新たに組み込んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	園内清掃、トイレ清掃、噴水清掃、照明器具清掃
	保守・点検	浄化槽点検(月1回)、遊具専門点検(年2回)、遊具定期点検(年12回)、園内施設安全点検(連休前・夏期休暇前・年末年始前)、照明・非常用装置点検(月1回)
	警備	通常パトロール、夜間巡視(月2回)
	修繕	側溝修繕、トイレ修繕、避難高台法面復旧、トロピカルロード防護柵補修、空調設備修繕、給湯器修繕
	備品等管理	適正な利用・保守管理
	安全対策	労働災害防止対策会議(年12回)、運動公園全体自衛消防訓練参加(年2回)、植物園自衛消防訓練実施(年1回)、普通救命講習受講、青島内海地区大津波避難訓練
	その他	植栽管理業務(樹木・芝・花壇等)、動物飼育業務(鯉)、施設維持管理業務(園路・遊具・トイレ他)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート調査、レンタサイクルの実施、カフェ設置、公園管理運営マニュアル勉強会、職員接遇研修等
	イベント等ソフト面充実	ブーゲンビリアコレクション2022、おもしろタネの展示会、青島サンデーマーケット、宮崎の花旅365共通フォトフレーム設置、青島まるごとフラワーフェスタ、クイズラリー、園芸基礎講座、お茶会、ハナショウブまつり、バラの管理講習会、花苗プレゼント、犬のマナー教室等
	施設設備等ハード面充実	駐車場舗装打換え・グレーチング取替、野球場フェンス取替、進入路照明更新、避難高台階段カラー塗装、監視装置LET化、自動芝刈り機導入、枯損枝の除去等
	その他	「青島再生プロジェクトメンバー」、地元地区活動への参加、自主事業時のアンケート調査、公園ボランティア(「バラクラブ」(総合運動公園)、「ガーデニングクラブ」、「青島スタンプラリー」(青島亜熱帯植物園))との協働等
管理運営体制	員技能研修、個人情報保護教育、公園管理運営士等の資格取得、管理運営委員会、新規職員研修等	
コメント	日々のパトロールや適切な人員配置を行うことにより利用者の安全確保に努めている。植物園においては、頻りにFacebookやInstagramなどを活用した情報発信を行っていた。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	自主事業時のアンケート調査
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
WBCキャンプ中、駐車場の若い警備員の案内が悪かった。	お詫びし、警備会社へ伝達。
ソテツ広場で遊べない。	自転車競技場改修のため閉鎖している旨説明、他の遊具場所を紹介。

5 総合評価

評価コメント	公園管理運営に必要な教育を幅広く実施し、必要な資格取得・講習を受講している。また、施設・設備類の保守点検は徹底して取り組んでいる。青島の自然や亜熱帯植物を五感で学ぶ仕掛けをつくり、楽しみながら学習できるイベントや講習会を開催するなど、「緑の中のスポーツ公園」「トロピカル植物園」としてのブランド力を発揮できるよう、公園の魅力のみならず、公園の歴史や花みどり文化などの情報発信に努めている。
今後の課題と対応	運動公園においては、引き続き競技大会やキャンプ等の大規模イベントを踏まえた維持管理や津波に係る防災対策の充実を行っていく必要がある。植物園においても、引き続き他施設との連携や利用者増加のためにSNSなどを活用した魅力の発信が求められる。